

平成27年11月11日

各 位

会社名：株式会社 J B イレブン  
代表者名：代表取締役社長 新 美 司  
(コード番号：3066 名証第二部)  
問合せ先：取 締 役 伊 藤 真 一  
電話番号：052-629-1100

平成28年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異  
および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異、および平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績予想値について、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成28年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値との差異

(1) 連結業績予想値と実績値との差異（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,246	71	60	10	3.01
今回修正(B)	3,301	89	79	31	9.02
増減額(B) - (A)	55	18	18	21	—
増減率 (%)	1.7	26.3	30.8	199.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 平成27年3月期第2四半期 (非連結)	2,995	52	42	8	2.36

※当社は平成26年10月1日をもって持株会社体制へ移行しており、これに伴い平成27年3月期第3四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しています。上記ご参考には、持株会社体制移行前の平成27年3月期第2四半期（非連結）の実績を記載しています。

(2) 差異が生じた理由

売上高については、既存店売上高が好調に推移し、前年同期比103.7%となったこと等により、当初の予想を上回りました。

営業利益、経常利益については、原材料費・人件費等の負担増加があった一方で、売上規模拡大による効率改善とエネルギーコストの負担低減等があり、当初の予想を上回りました。

た。

親会社株主に帰属する四半期純利益についても、退店を見込む店舗の減損損失額が計画を下回ったこと等により、当初の予想を上回りました。

## 2. 平成28年3月期通期連結業績予想値の修正

### (1) 通期連結業績予想値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,502	193	172	76	21.94
今回修正(B)	6,607	201	180	33	9.51
増減額(B) - (A)	104	7	7	△43	—
増減率 (%)	1.6	3.8	4.2	—	—
(ご参考) 前期実績 平成27年3月期 (連結)	6,139	112	96	30	8.81

### (2) 差異が生じた理由

第2四半期累計期間の実績および足元の業績動向を踏まえた結果、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を追加で見込んだ結果、当初予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上